

日時 2018年1月31日(水) かながわ県民センター 13時~15時

参加者 6人(非会員6 会員1・他付き添い1人)

参加委員 濱田・永塚・野中

●Aさん(60代)女性 横浜市在住

*今迄の経過

経過をみてきたが、現在は脚長差が大きくなってきて(自分の感覚では3~4cm)30分位歩くと疲れが出るようになり、そろそろ手術かなと考えています。神奈川県内の整形外科専門(股関節手術も多数)の病院に2月診察の予約を入れています。

*アドバイス

術前の健康管理、歯科検診も大切です。

人工は除痛が主目的で、それと歩行力と日常動作は格段に向上します。

一方でリスクもあり、特に感染に関しては、日頃のご自身での健康チェックが大切です。そのリスクも合わせて聞いて、良い時期に受けて下さい。

●Bさん(70代)女性 横浜市在住

*今迄の経過

発症前は中山道や東海道歩きなど、長歩きをよくやっていた。

発症は歩き過ぎではないかと自分では考えている。69才の時に近所の整形外科で右側股関節症と診断された。その時、末期で穴があいている(骨のう胞)と言われた。

現在は保存療法に取り組んでいる。歩く時ノルディック(ポール)を使っているが、最近長く歩けない(2本杖で5000歩が限度)。くつ下がはきづらく、爪切りもしづらい。手術についていろいろ知りたい。

免疫力に自信がなく1年に3度も風邪をひく状態で手術はできるのか心配。

*アドバイス

まず専門医の受診をお勧めします。

手術については、術前に必ず検査をするのでその結果で先生が判断します。

足の手術であっても健康状態(歯も含め)は大切なので手術に備えた準備は必要です。

人工は除痛が主目的で、それと歩行力と日常動作は格段に向上します。

一方でリスクもあり、特に感染に関しては、日頃のご自身での健康チェックが大切です。そのリスクも合わせて聞いて、良い時期に判断して下さい。

●Cさん（50代）女性 東京都在住

* 今迄の経緯

近所の整形外科を受診、変形性股関節症と診断され経過観察中。
現在痛み止めを服用している。夜間痛もある。

* アドバイス

痛み止めを毎日服用しているとの事で、身体の負担を考えるとあまりお勧めは出来ないとお話をした。

一度、股関節の専門医に受診する事をおすすめした。

●Dさん（60代）女性 横浜市在住

* 今迄の経緯

2年半前に突然右足に痛み。市内総合病院内の整形外科を受診、変形性股関節症と診断された。保存療法で色々やっているが良くなっている感じはない。

* アドバイス

人工股関節手術のメリット・デメリットをお伝えした。

一度、病院の理学療法士に相談して自分に合った運動をお願いしてみてもは。

●Eさん（60代）女性 相模原市在住

* 今迄の経過

両側形成不全（未手術）。1年前に近所の病院で診断を受けた。

その後、大学病院の専門医を受診したところ、人工手術をすすめられた。

現在は近所の整骨院に通っている。太ももは張るが家事をするのに支障がないので、人工手術を迷っている。今は様子を見たいので、保存のための理学療法を受けたいが、受診した大学病院では手術の話しか出ない。

保存のためのリハビリを受けられる病院はないか？

* アドバイス

正しい運動療法のやり方を知ることが大切なので、まずはかかっている

大学病院の先生に理学療法を受けられるか聞いてみてください。難しい場合は神奈川県内で股関節リハビリ療法を受けられる病院の受診をおすすめします。

●その他1名